

問1 アメリカ合衆国の工業構造の変化と、サンフランシスコ近郊に位置する「シリコンバレー」の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 島根公立入試 類似）

1. 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を利用した、大規模な鉄鋼業の拠点となっている。
2. 豊富な石油資源や宇宙産業を背景に、メキシコ湾沿岸で急速に発展した。
3. 自動車産業の工場が集中し、かつて「世界の自動車の都」と呼ばれた。
4. 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。

問2 北アメリカ州では、人口の割合（約7.6%）に比べて穀物生産量の割合（約18.2%）が突出して高くなっています。このように、北アメリカ州が世界有数の食料供給地となり得ている背景として、農業の仕組みの面から説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 広大な土地で大型機械を効率的に使い、少ない労働力で大量に生産する企業的な農業が行われているため。
2. 人口密度が高いため、限られた土地に多くの労働力を投入する集約的な稲作が行われているため。
3. 熱帯の気候を生かし、先進国の資本や技術を導入して特定の農産物を栽培するプランテーションが中心であるため。
4. 乾燥した地域が多いため、オアシスや河川の周辺で自給を目的とした伝統的な農業が行われているため。

問3 アメリカ合衆国の経済と貿易の特徴について、統計上の事実に基づいた正しい説明を選びなさい。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 1人あたりのGNIは世界最高水準にあるが、貿易収支は輸入額が輸出額を上回る赤字の状態にある。
2. 1人あたりのGNIは非常に高い水準にあり、その強力な経済力を背景に多額の貿易黒字を計上している。
3. 1人あたりのGNIは南米のアルゼンチンなどの諸国よりも低いですが、輸出が輸入を上回る貿易黒字となっている。
4. 1人あたりのGNIは低水準にとどまっており、自国の工業が未発達なため製品の輸入が多く貿易赤字となっている。

問4 メキシコの貿易構造と、その背景にある地理的・経済的な関係について述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米のコロンビアとも活発に取引を行っている。
2. 輸入において中国や日本、韓国などのアジア諸国が合計額でアメリカ合衆国を上回っており、アジアへの依存を強めている。
3. 輸出先はアメリカ合衆国に集中しているが、輸入先はドイツを中心としたヨーロッパ連合（EU）諸国が過半数を占めている。
4. 中南米諸国との貿易を最優先しており、コロンビアやブラジルとの取引額が、アメリカ合衆国やカナダを上回っている。

問5 北アメリカ大陸のロッキー山脈より東側に広がる地形区分について、西から東へ向かって並んだ名称の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原
2. 中央平原、プレーリー、グレートプレーンズ
3. プレーリー、グレートプレーンズ、中央平原
4. グレートプレーンズ、中央平原、プレーリー

問6 リオデジャネイロオリンピックのメダル獲得数において、アメリカ、イギリス、中国、ドイツ、日本、フランス、ロシアといった国々の中で、合計獲得数が100個を超え最も多かった国について述べた次の文のうち、工業に関する説明として正しいものはどれですか。（2017年 山口公立入試 類似）

1. 北緯37度より南の地域で、航空宇宙産業などの先端技術産業が急速に発達した。
2. 国内の北東部に位置する五大湖周辺において、現在も世界最大の鉄鋼業地帯を形成している。
3. 西海岸のサンフランシスコ近郊において、自動車産業の組み立て工場が集中している。
4. 南部からメキシコ湾岸にかけて、古くからの繊維工業が現代の経済を支えている。

問7 主要国の電源構成を比較した統計資料において、火力発電が約68.6パーセントと大きな割合を占め、次いで原子力発電が約19.2パーセント、水力発電が約6.3パーセントとなっている国はどこですか。（2020年 三重公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国
2. フランス
3. カナダ
4. 日本

問8 アメリカの米生産に関する統計では、1ヘクタール当たりの収穫量が6.69トンと高く、農民一人当たりの生産量も多い上、世界最大の米輸出量を記録しています。このように、アメリカが国際的な競争力を持つ農業を実現できている理由として、背景にある仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2018年 静岡公立入試 類似）

1. 気候区分に合わせた適地適作を行い、広大な土地で機械化による大規模な生産を行っているため。
2. 一戸当たりの耕地面積をあえて小さく制限し、家族経営による丁寧な手作業を重視しているため。
3. 国内の食料自給率が低いため、政府が補助金を投入して輸出専用の農作物を強制的に作らせているため。
4. 熱帯雨林を切り開いたプランテーションにおいて、安価な労働力を大量に雇用しているため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 4</b> 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。	シリコンバレーは、スタンフォード大学などの高度な教育・研究機関と密接に連携することで、新しい技術やビジネスが次々と生まれる環境が整っています。かつてのアメリカ工業を支えたピッツバーグ（鉄鋼）やデトロイト（自動車）とは異なり、知的財産やソフトウェア、電子デバイスを強みとする「知識集約型」の産業が特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 広大な土地で大型機械を効率的に使い、少ない労働力で大量に生産する企業的な農業が行われているため。	北アメリカ州、特にアメリカ合衆国などでは、気候条件に合わせた「適地適作」が行われるとともに、航空機による農薬散布や大型トラクターの導入など、高度に機械化された大規模な商業的農業が展開されています。これが、自国の人口を養うだけでなく、世界中に穀物を輸出できる要因となっています。
問3	<b>答え 1</b> 1人あたりのGNIは世界最高水準にあるが、貿易収支は輸入額が輸出額を上回る赤字の状態にある。	1人あたりのGNIは「国民1人あたりの経済的な豊かさ」を示す指標であり、アメリカ合衆国はこれが非常に高い水準にあります。一方で、貿易収支は「輸出額と輸入額の差」を指します。アメリカは消費活動が非常に活発であることや、製造拠点の海外移転などの要因により、輸出総額を輸入総額が大幅に上回る貿易赤字の状態が続いています。この事例は、経済水準の高さと貿易収支の黒字・赤字は必ずしも一致しないことを示しています。
問4	<b>答え 1</b> 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米のコロンビアとも活発に取引を行っている。	メキシコは北アメリカ大陸に位置し、アメリカ合衆国と密接な経済関係を築いています。輸出相手国としてはアメリカが圧倒的で、次いで同じ北米のカナダや、文化的な共通点も多い中南米のコロンビアが主要な相手となります。輸入においてもアメリカが1位ですが、日本や中国といった製造業の盛んな国々からも工業製品などを輸入しています。
問5	<b>答え 1</b> グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原	北アメリカ大陸の中央部は、西側にそびえるロッキー山脈から東の海岸線に向かって、高度を下げながら地形が変化していきます。山脈のすぐ東側には比較的乾燥したグレートプレーンズが広がり、その東側に半乾燥の草原地帯であるプレーリー、さらに東側にはより湿潤で平坦な中央平原が位置しています。この配列は西から東へ向かうにつれて降水量が増加する気候条件とも対応しています。
問6	<b>答え 1</b> 北緯37度より南の地域で、航空宇宙産業などの先端技術産業が急速に発達した。	オリンピックのメダル獲得数が世界最多であるアメリカ合衆国では、1970年代から「サンベルト」と呼ばれる南部の地域で、航空宇宙産業や情報通信産業などの新しい工業が成長しました。かつて盛んだった五大湖周辺の重工業（スノーベルト）に代わり、現在のアメリカ経済を牽引する重要な地域となっています。
問7	<b>答え 1</b> アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、自国で産出される石炭や天然ガス（シェールガスを含む）を背景に、火力発電が電源構成の約7割を占めています。同時に、原子力発電も約2割と重要な役割を果たしているのが特徴です。これに対し、フランスは原子力発電が約7割、カナダは水力発電が約半数を占めており、日本は東日本大震災以降の原子力発電所の停止等の影響で火力発電が9割弱に達しているという違いがあります。
問8	<b>答え 1</b> 気候区分に合わせた適地適作を行い、広大な土地で機械化による大規模な生産を行っているため。	アメリカでは、広大な国土の気候や土壌に適した農作物を特定の地域で集中して生産する「適地適作」が行われています。これに加えて、一戸当たりの広大な耕地面積を大型機械で効率的に耕作することで、高い生産性と価格競争力を確保し、世界市場への大量輸出を可能にしています。